

射水市総合計画審議会 第4回未来創造部会 会議録（要旨）

○日 時 令和4年7月28日（木） 午後7時～8時20分

○場 所 新湊消防署3階講堂

○出席者

（委員）

明石あおい、朝倉あゆみ、飯山進、荻浦明希子（リモート参加）、樋上正之、二川由利子、松本吉晴、松本三千人、宮城克文、宮田妙子、宮田雅人

オブザーバー：大西宏治、鈴木真由美（リモート参加）

欠席委員

なし

（当局）

現地参加

桜川議会事務局長、小塚企画管理部長、北財務管理部長、長谷川市民生活部長、小見福祉保健部長、宮本産業経済部長、久々江教育委員会事務局長、渡邊会計管理者、吉岡監査委員事務局長、荒谷議会事務局次長、杉本企画管理部次長、中川財務管理部次長、松下市民生活部次長、轟福祉保健部次長、福井産業経済部次長、塩谷教育委員会事務局次長、六渡教育委員会事務局次長、森田未来創造課長、菅原政策推進課長

リモート参加

四日人事課長、坂井財政課長、佐藤資産経営課長、高橋課税課長、鎧塚収納対策課長、齊木市民活躍・文化課長、野崎検査監、板坂市民課長、大居子育て支援課長、久々江観光・定住課長、星野学校教育課長、片口監査委員事務局次長

1 開会

2 部会長あいさつ

3 議事

（1）基本構想及び基本計画素案について

（2）将来像及び関係人口の名称の検討状況について

政策推進課長	資料1、2に基づき説明
部会長	資料1 基本構想・基本計画素案について意見をいただきたい。
委員A	例えば23ページの「児童館・児童室の利用者数」や「子育て支援センターの利用者数」などの基準値はコロナの影響があったものだが、コロナ前の数値がどうだったか知りたい。87ページにある「市政出前講座の開催数」の基準値は平成29年から令和3年の平均となっている。このように平均をとって目標値を定めたのか、もしくはコロナ前の数値を基準に設定したのか確認したい。 「第4章 生きる力を育む学校教育を推進する」について、学力にはSNSやゲームの影響が大きいとの報道があった。富山県は、北陸3県で比較すると、ゲーム時間が長いという話もあった。こういったことを数値目標で設定できないか。家庭の問題だと思うが、市の計画書などに記載があると興味のある親は子どもに対して

	指導するきっかけになると思う。
	注釈の順番について、あいうえお順などで並んでおらず不便だと感じた。ページ数を入れるなどしたほうがいいと思う。また、文案にインクルージョンという言葉が入っていないと思う。なぜなのか。
事務局	注釈については出現順となっている。最終的には一覧ではなくページ下部に記載する予定。インクルージョンも追加したい。
福祉保健部長	23 ページ「児童館・児童室の利用者数」の基準値について、コロナ前の令和元年度の利用者数は 55,963 人で、令和 2 年度は一時閉館したこともあり約 35,000 人となっている。子どもの人口は減少を見込んでいるが、それでも児童館を利用してほしいということで 7 万人を目標値としている。
教育委員会事務局長	S N S やゲームの時間の影響については、はっきりとした検証がなされていない。どの程度 S N S やゲームに時間を費やしているかのデータはある。目標として設定するかは検討する。間接的に関係する項目として 27 ページに「家庭学習の一日当たりの時間が「10 分間×学年」以上の児童生徒の割合」を指標に挙げている。
部会長	「家庭学習の一日当たりの時間が「10 分間×学年」以上の児童生徒の割合」の指標について、単に時間ではなく個別に対応した学習方法等を行ったほうがいいという見解もある。その観点での目標などはあるか。
教育委員会事務局長	色々な考えはあるが一律には表現しづらい。少なくともこれだけの時間はとりましょうという目標としている。
部会長	求められているものは、一人ひとりに適した学びを提供することだ。
委員 B	各ページに SDG s のアイコンがある。可能な範囲で大きくしてほしい。アイコンの文字は重要な意味があると思うので、確認できる大きさのほうがいいと思う。 成果指標の数をもっとあってもいいのではないか。主要施策が多いためトータルでみると多くみえるが、成果指標は具体的なものを示しているので、色々なことを挙げていいと思う。行財政改革集中改革プランに掲げる数値目標を参考にするのも一つの方法だと思う。 27 ページ指標の「休日の部活動を地域に移行した割合」の目標値が 100% となっている。スポーツ分野の部活動について提言されているが、文化活動もある。そこをどう捉え 100% にしているのか。
事務局	SDG s アイコンはなるべく分かりやすく表示する。 また、成果指標は、多くを設定せず、それぞれの主要施策を代表するものに絞って設定したいと考えている。詳細な成果指標については、基本計画の下位の実施計画で設定することを検討している。行財政改革集中改革プランについては、参考にしながら作成を進めたい。
教育委員会事務局長	部活動について、国では、文化系についても休日の部活動を地域に移行したいとしている。射水市においては今年度から柔道、剣道、バスケットボールをモデル競技として休日の活動を地域に移行しており、文化部についても協議を始めている。
委員 B	なぜ休日だけなのか。
教育委員会事務局長	国では、まず休日について地域への移行を進めている。
委員 C	文科系の部活動の関連で、文化芸術活動の現状として、市の芸術文化協会では、6 つの専門分野において今年度から生涯学習と連携しながら放課後学習などで出前講座を行っているところである。
委員 D	「第 1 章 新しい命の誕生を支援する」の現状と課題には、総合的な結婚支援の取組を強化する必要があると記載がある中で、指標は「出会いイベント開催数」と

	なっている。出会いイベントが増えたからといって、新しい命の誕生支援や総合的な結婚支援の取組を強化するには心もとないと思う。出会いイベントではなく、日常の中で出会いを求めているハードルを越えられない人を視野に入れた指標を設定してほしい。 75 ページの「6-2-2 シティプロモーションの推進」について、指標は「ホームページのアクセス数」と「ツイッター、YouTube、Instagram のフォロワー数」となっているが、アクセス数やフォロワー数が増えるのはシティプロモーション以外の要素も含まれると思う。シティプロモーションとしてはメディア等に直接的にプロモーションを行い、「メディアにどれだけ取り上げられたのか」のほうが相応しいと思う。 73 ページ「6-1-1 観光の振興」の指標に「観光客入込数」が挙げられており、説明には「バイエリア（海王丸パーク、きつときと市場、川の駅）の入込数」と記載されているが、バイエリア以外にも広く目を向けるべきではないか。 また、今は観光のあり方が多様化している。従来型の目標設定でいいのか疑問に思う。多様な時間の過ごし方、旅のあり方を念頭に置いて施策や指標を検討するべきではないかと考える。
部会長	もう少し色々な観点から指標を立ててもいいのではないかと考える。
委員 E	61 ページ「4-1-2 ジェンダー平等（男女共同参画）の推進」の指標について、「男性の育児休業取得率」だけではなく、市で意識調査を実施しているはずなので、そこからもってきてもいいと思う。また、育児休業については、10 月から産後パパ育休が制度化されるので、それも指標に入れてほしい。 33 ページ「親を学び伝える学習プログラムの参加率」について、子育て井戸端会議は射水市しかやっていない取り組みだと思うが、それはここに入っているのか。射水市だけの取り組みなので入れたほうがいいと思う。
委員 F	61 ページの「4-1-2 ジェンダー平等（男女共同参画）の推進」の指標に「男性の育児休業取得率」が挙げられているが、45 ページ「2-3-4 女性活躍の推進」に（3）男性の育児参加の促進とあるので、こちらにもってきて、4-1-2 の指標は市で行っている意識調査からもってきてほしいと思う。 また、44 ページ、45 ページの表現が「性別にかかわらず」となっているが、女性の活躍にフォーカスした表現でいいのではないか。
部会長	「2-3-4 女性活躍の推進」に出てくる（3）男性の育児参加の促進と、「4-1-2 ジェンダー平等（男女共同参画）の推進」の指標は入れ替えたほうがいいと思う。
委員 E	「7-5-5 自治体DXの推進」では、結ネットを数値目標化したほうがいいと思う。
委員 B	「7-4-1 芸術文化活動の推進」に（4）次代の芸術文化活動を担う子ども・若者の育成とある。何か成果指標がほしい。 「7-2-1 協働・共創・市民参画の体制・仕組みづくりの推進」について、まさしく今仕組みづくりが求められている。成果指標として設定できなくても具体的に目指す方向性を示すことができないか。指標 1 つではさみしい。多様な地域活動、交流を描いていければと思う。
市民生活部長	成果指標については、より適切なものとなるよう検討したい。
委員 G	81 ページ「7-2-2 学生・生徒が参画するまちづくりの推進」では、まちづくりに関心がある学生の割合を指標にしているが、もう一歩進んで、どうしたらまちづくりに参画できるか、参画機会を増やすような指標を入れてほしい。
委員 H	掲げている施策を直接計ることのできない指標がある。成果指標にある内容が主要施策のどの部分と関連しているか示す必要がある。直接計れるものがない場合、どうすれば内容を計れるのか考え、説明に加える必要がある。

部会長	資料２ 射水市の将来像案及び関係人口の名称案について意見をいただきたい。
委員 B	将来像の案１は長い。もう少し短くしてほしい。
委員 I	この将来像は 10 年間使われる。10 年後にこれをみても、なるほどと意味が分かるものだとい。その意味で「いみずの本気」という言葉は 10 年後には意味が分からなくなる気がする。流行ではなく普遍的なもののほうがいい。
委員 J	「ムズムズ」という言葉にはインパクトがある。10 年後もムズムズは変わらないのではないか。将来像か関係人口の名称どちらに残したほうがいい。 関係人口の候補 は富山弁を使っており、これも 10 年後も変わらないので、温かいものを感じられる富山弁を入れ込んでもいい。
委員 A	ムズムズは 10 年後でも通じる。どちらかに入れるのは賛成だが、いきなりムズムズと出てくると何のことか分からなくなる気もする。ただ、射水市らしさとしてムズムズは残したい。
委員 K	79 ページ「7-1-3 新たな交流や多様なかわり方の促進」について、昨年度各県から来ていただき試合を実施しているが、市内での宿泊は伴っていない。宿泊を伴う経済効果以外にも色々指標があると思う。スポーツツーリズムの目標を高く設定して交流人口を増やしていければいい。
部会長	本日いただいた意見は、次回全体会での協議資料に反映する。資料への反映については事務局と部会長、副部会長に一任してほしい。 (異議なし)
4 その他 事務局	次回は全体会を 8 月 29 日(月)午後 7 時からクロスベイ新湊で開催を予定している。
5 閉会	

以上